

# 授業のポイント



## ①付きたい力を明確にした指導

2	3	・「アップとルーズで伝える」を読み、段落同士や文同士をつなぐ言葉に着目して、「思いやりのデザイン」の段落構成との共通点を考える。
	4	・第3・8段落に筆者の考えが繰り返し書かれていることに着目して、「 <u>双括型</u> 」のよさについて考える。
5 本 時		・第4・5段落の叙述からアップとルーズの「 <u>対比</u> 」に着目し、そのよさを考える。
	6	・第6・7段落の類比の関係に着目して、「 <u>具体例</u> 」のよさについて考える。

単元で付きたい力、本時付きたい力が明確になっています。児童が何について考え、何ができたら○なのかがはっきりしています。

## ②自分の考えをもち、考えを深める



一人一人が考えをもち、仲間と交流する中で、新たな気づきがありました。自分の考えと比べながら聞き、自らの考えを再構築していく対話的な学びです。

# 参考資料(板書、教具等)



## 板書



「アップ」と「ルーズ」の対比もあれば、それぞれの中に「分かること」「分からないこと」の対比があることを分かりやすく示しています。

## ICTの活用



過去の板書をタブレットに残しておくことは、児童生徒が考える際の大切な手掛かりになります。